

# 令和4年度 農作物病虫害発生予察8月月報

令和4年(2022年)9月4日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	29.7	28.0	1.7	34.8	33.4	1.4	26.4	24.0	2.4
8.2	29.6	28.0	1.6	35.3	33.3	2.0	25.4	24.0	1.4
8.3	29.6	27.7	1.9	35.3	33.0	2.3	26.2	23.8	2.4
8.4	27.2	27.3	△ 0.1	31.9	32.6	△ 0.7	24.3	23.4	0.9
8.5	28.3	26.9	1.4	33.3	32.1	1.2	24.8	22.9	1.9
8.6	26.8	26.3	0.5	32.9	31.5	1.4	21.9	22.4	△ 0.5
平均・計	28.5	27.4	1.2	33.9	32.7	1.3	24.8	23.4	1.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
8.1	13.5	27.8	△ 14.3	40.6	34.8	5.8			
8.2	3.0	27.1	△ 24.1	37.2	34.1	3.1			
8.3	7.0	31.6	△ 24.6	22.7	32.0	△ 9.3			
8.4	108.0	34.9	73.1	11.8	30.5	△ 18.7			
8.5	14.5	35.0	△ 20.5	27.5	29.5	△ 2.0			
8.6	0.0	42.6	△ 42.6	49.7	33.6	16.1			
平均・計	146.0	199.0	△ 53.0	189.5	194.5	△ 5.0			

## II 作物の生育状況

- (1) イネ : 早生の出穂期は平年よりもやや早くなった。中生～晩生については、莖数は平年並みだが、出穂期は平年並み～やや早くなった。
- (2) ダイズ : 6月播種の開花期は概ね平年並み。8月以降は降雨もあり、莢伸長も概ね順調に推移している。
- (2) カンキツ : まとまった降雨は少ないが、着果量が少ないため、果実は平年より大きい傾向である。一部産地の果実分析結果では、糖度は平年並み、酸度はやや高めの傾向である。

### Ⅲ 病害虫の発生状況

#### 1 普通作物

2022年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ いもち病(葉いもち) (調査ほ場数：上旬86、 下旬60)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率37.2% (平年22.5%)、発病株率22.0% (平年8.5%)、発病度6.1 (平年2.3) で平年に比べ多かった。病斑は停滞型であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0% (平年13.8%)、発病株率11.7% (平年5.2%)、発病度3.8 (平年1.4) で平年に比べ多かった。病斑は停滞型であった。	県内全域	多 452
			中 2,035
			少 4,749
			計 7,236
いもち病(穂いもち)  (調査ほ場数：上旬27、 下旬53)	初発生は、美祢市で8月4日(平年8月14日)に確認し平年に比べ早かった。 上旬の巡回調査では、発生ほ場率3.7% (平年4.7%)、発病株率0.1% (平年0.8%)、発病穂率0.0% (平年0.1%)、発病度0.0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.8% (平年15.9%)、発病株率2.5% (平年3.4%)、発病穂率0.1% (平年0.6%)、発病度0.1 (平年0.4) で平年並みであった。	県内全域	少 2,488
紋枯病  (調査ほ場数：上旬86、 下旬86)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率11.6% (平年10.0%)、発病株率1.2% (平年1.3%)、発病度0.3 (平年0.3) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率43.0% (平年20.7%)、発病株率8.6% (平年3.1%)、発病度3.0 (平年1.1) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 226
			中 226
			少 7,915
			計 8,367
ごま葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率23.3% (平年9.5%)、発病株率6.7% (平年2.8%)、発病度1.7 (平年0.7) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率32.6% (平年18.0%)、発病株率13.0% (平年8.0%)、発病度3.3 (平年2.0) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 1,583
			少 4,749
			計 6,332
縞葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.2%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 白葉枯病、黄化萎縮病、萎縮病	上旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：上旬26、下旬40)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.4%)、発病株率0% (平年0.1%)、発病穂率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.8%)、発病株率0% (平年0.5%)、発病穂率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
ツマグロヨコバイ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率16.3% (平年29.4%)、10株当たり虫数0.2頭 (平年0.7頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.7% (平年18.8%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.4頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 3,166
セジロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率17.4% (平年65.2%)、1.9頭/10株 (平年25.3頭/10株) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.8% (平年48.2%)、10株当たり虫数0.4頭 (平年9.7頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	中 452 少 2,940 計 3,392
トビイロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年25.0%)、10株当たり虫数0頭 (平年3.2頭/10株)、10株当たり短翅型成虫数0頭 (平年1.0頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年40.6%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年33.4頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭 (平年0.6頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 226
コブノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率14.0% (平年30.2%)、被害葉率0.0% (平年0.6%)、20回払い出し虫数0.0頭 (平年0.7頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.1% (平年28.4%)、被害株率1.5% (平年10.5%)、被害葉率0.0% (平年0.9%)、20回払い出し虫数0.2頭 (平年1.1頭) で平年並みであった。	県内全域	少 4,297

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ イチモンジセセリ (イネツトムシ)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平成6.0%)、10株当たりつと数0.0個 (平成0.1個)で平成に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成3.8%)、10株当たりつと数0個 (平成0.0個)で平成に比べ少なかった。	県内全域	少 226
斑点米カメムシ (調査ほ場数：上旬27、 下旬35)	上旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率55.6% (平成62.7%)、20回すくい取り虫数3.7頭 (平成2.2頭)で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率65.7% (平成56.4%)、20回すくい取り虫数3.8頭 (平成1.8頭)で平成に比べ多かった。 主要種はイネカメムシ、クモヘリカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯(県内4か所)の誘殺数は、1,459頭 (平成1,185頭)で平成に比べやや多かった。内訳はアカスジカスミカメ922頭 (平成884頭)、イネカメムシ243頭 (平成121頭)、アカヒゲホソミドリカスミカメ174頭 (平成76頭)、クモヘリカメムシ90頭 (平成103頭)、ミナミアオカメムシ30頭 (平成14頭)であった。	県内全域	甚 226 多 452 中 2,261 少 2,261 計 5,200
ニカメイガ (調査ほ場数：86)	上旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められず、平成並みであった。	—	—
フタオビコヤガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成2.1%)、10株当たり虫数0頭 (平成0.0頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.8%)、10株当たり虫数0頭 (平成0.0頭)で平成並みであった。	—	—
イネヨトウ	上旬の巡回調査では、発生は認められず、平成並みであった。山口市の巡回調査ほ場の番外で被害株が確認された。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成0.2%)、25株当たり虫数0頭 (平成0.0頭)で平成並みであった。	山口市	1

2022年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
イネ イネクロカメムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.7%)、25株当たり虫数0頭(平年0.1頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.5%)、25株当たり虫数0頭(平年0.1頭)で平年並みであった。	—	—	—
イネカラバエ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—	—
ダイズ べと病 (調査ほ場数：21)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平年35.6%)、発病株率51.4% (平年25.4%)、発病度12.9(平年6.3)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	538
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年11.1%)、発病株率6.1% (平年2.8%)、発病度1.5(平年0.9)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	124
立枯性病害	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年4.8%)、発病株率0% (平年0.1%)で平年に比べ少なかった。	—	—	—
葉枯性病害 (褐色輪紋病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (前年14.3%)、発病株率38.9% (前年1.1%) であった。	県内全域	少	456
吸実性カメムシ類 (調査ほ場数：21)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平年32.8%)、1㎡当たり虫数0.4頭 (平年0.2頭) で平年に比べやや多かった。主要種はイチモンジカメムシであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.6% (平年37.5%)、1㎡当たり虫数0.3頭(平年0.2頭)で平年に比べやや多かった。主要種はホソヘリカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯(県内4か所)の誘殺数は54頭 (平年52頭) で平年に比べやや多かった。内訳はミナミアオカメムシ30頭 (平年14頭)、アオクサカメムシ16頭(平年29頭)、イチモンジカメムシ8頭(平年7頭)であった。	県内全域	多 中 少 計	41 124 249 414
フタスジヒメハムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率52.4% (平年61.7%)、1㎡当たり虫数1.3頭(平年2.6頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年72.0%)、1㎡当たり虫数15.6頭(平年14.1頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚多 中 少 計	166 124 124 249 663

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																			
ダイズ ウコンノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年17.6%)、被害株率0.4% (平年1.8%) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平年24.4%)、被害株率4.6% (平年5.2%) で平年並みであった。	県内全域	中	41																		
			少	207																		
			計	248																		
サヤムシガ類	上旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年23.1%)、25株当たり被害か所数0.8 (平年0.9) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平年5.3%)、25株当たり被害か所数0.3 (平年0.1) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	373																		
ハスモンヨトウ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年11.1%)、1a当たり白変か所数0.1か所 (平年0.2か所)、1㎡当たり虫数は0.2頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平年35.6%)、1a当たり白変か所数0.2か所 (平年0.5か所)、1㎡当たり虫数は1.1頭 (平年0.7頭) で平年並みであった。 8月の山口市大内のフェロモントラップの誘殺数は、1,178頭 (平年2,904頭) で平年に比べやや少なかった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ (県内4カ所) の誘殺数は2,721頭 (平年2,722頭) で平年並みであった。  <b>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>280</td> <td>734</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>35</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,011</td> <td>601</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,395</td> <td>1,273</td> </tr> <tr> <td>参考:周南市熊毛</td> <td>15</td> <td>112 ※</td> </tr> </tbody> </table> ※周南市の平年欄は前年の誘殺数を記載	地点	本年	平年	山口市阿東	280	734	萩市明木	35	102	下関市清末	1,011	601	柳井市伊陸	1,395	1,273	参考:周南市熊毛	15	112 ※	県内全域	少	207
地点	本年	平年																				
山口市阿東	280	734																				
萩市明木	35	102																				
下関市清末	1,011	601																				
柳井市伊陸	1,395	1,273																				
参考:周南市熊毛	15	112 ※																				
ウワバ類等の チョウ目	上旬の巡回調査では、発生ほ場率76.2% (平年74.9%)、1㎡当たり虫数2.4頭 (平年1.4頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平年78.3%)、1㎡当たり虫数3.6頭 (平年1.2頭) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	124																		
			多	124																		
			中	373																		
			少	249																		
			計	870																		

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年10.1%)、発病果率0.3%(平年 0.8%)、発病度0.1(平年0.4)で平年に 比べやや少なかった。	県内全域	少	57
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (前年5.3%)、発病果率0.6%(前年 0.2%)、発病度0.3(前年0.1)であっ た。	県内全域	少	57
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 26.3%(平年77.7%)、発病果率4.9% (平年21.8%)、発病度1.0(平年5.6)で 平年に比べ少なかった。	県内全域	少	284
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年42.6%)、寄生葉率0.9%(平年 8.1%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	57
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)、寄生果率0%(平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	—
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年15.0%)、被害果率0.1%(平年 0.4%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	57
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 42.1%(平年26.6%)、寄生果率3.1% (平年2.1%)で平年に比べやや多かつ た。	県内全域	多 中 少 計	57 170 227 454
イセリアカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 15.8%(平年2.6%)で平年に比べ多 かった。	県内全域	少	170
ルビーロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年1.1%)で平年に比べやや多かつ た。	県内全域	少	57
ヤノネカイガラム シ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)で平年並みであった。	—	—	—
ツノロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.5%)で平年並みであった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前年0%)、寄生新梢率0%(前年0%)で あった。	—	—	—

2022年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ナシ ナシヒメシンクイ	7月26日～8月25日の萩市小川のフェロモントラップによる誘殺数は55頭(平年48.5頭)で平年並みであった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	7月26日～8月25日の予察灯(県内5か所)における誘殺数は537頭(平年549頭)で平年並みであった。 7月26日～8月25日のフェロモントラップ(県内5か所)によるチャバネアオカメムシの誘殺数は761頭(平年3,313頭)で平年並みであった。	県内全域	—

## 3 野菜

2022年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																		
野菜、花き類 アブラムシ類	8月の山口市大内の黄色水盤トラップによる誘殺数は、159頭(平年263頭)で平年並みであった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	8月の山口市大内のフェロモントラップの誘殺数は、1,178頭(平年2,904頭)で平年比べやや少なかった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ(県内4か所)の誘殺数は2,721頭(平年2,722頭)で平年並みであった。 <b>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>280</td> <td>734</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>35</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,011</td> <td>601</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,395</td> <td>1,273</td> </tr> <tr> <td>参考:周南市熊毛</td> <td>15</td> <td>112 ※</td> </tr> </tbody> </table> ※周南市の平年欄は前年の誘殺数を記載	地点	本年	平年	山口市阿東	280	734	萩市明木	35	102	下関市清末	1,011	601	柳井市伊陸	1,395	1,273	参考:周南市熊毛	15	112 ※	県内全域	—
地点	本年	平年																			
山口市阿東	280	734																			
萩市明木	35	102																			
下関市清末	1,011	601																			
柳井市伊陸	1,395	1,273																			
参考:周南市熊毛	15	112 ※																			
オオタバコガ	8月の山口市大内のフェロモントラップの誘殺数は、35頭(平年27頭)で平年並みであった。	県内全域	—																		
シロイチモジヨトウ	8月の山口市大内のフェロモントラップの誘殺数は、68頭(平年60頭)で平年並みであった。	県内全域	—																		
コガネムシ類	7月26日～8月22日の予察灯(県内5か所)の誘殺数は415頭(平年398頭)で平年並みであった。	県内全域	—																		

お問い合わせ先

山口県病害虫防除所

TEL (083)927-4006

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp